

本報告書でお伝えしたいこと

当社グループでは、企業価値を構成する要素のなかでも、株主資本コストを上回るリターン創出力を測るROEを最重要指標と位置づけています。ビジネスモデルの進化・積層化2.0推進や事業ポートフォリオの大胆な入れ替えによる「ROA向上」、株主還元を含むキャピタルアロケーション最適化と最適資本構成の実現による「財務レバレッジ適正化」を通じ、ROEを向上させていきます。また、市場との積極的な対話等を通じて「成長期待向上」「株主資本コスト低減」に取り組み、PER水準の切り上げをめざします。本報告書全体を通して、こうした企業価値向上に向けた価値創造ストーリーをお伝えします。

POINT 1

企業価値向上に向けた全体像

CEOメッセージ P.5

31年度のありたい姿の実現に向け、PBRを構成するROEとPERの双方から、企業価値向上に向けた当社グループの考え方と2028中計の位置づけを示します。



POINT 2

ROA向上に向けた事業ポートフォリオ変革

ビジネスモデルの進化・積層化2.0の方向性 P.23

事業ポートフォリオの入れ替え P.24

ビジネスモデルの進化・積層化2.0と事業ポートフォリオの入れ替えを通じ、各事業の強みを生かしながら収益性を高め、ROA向上につなげます。

POINT 3

資本効率を高める財務戦略

CFOメッセージ P.25

成長投資、資産入れ替え、株主還元、財務健全性のバランスを図り、キャピタルアロケーションの最適化と最適資本構成の実現をめざします。



POINT 4

31年度のありたい姿に向けた成長戦略とデジタル戦略

2026～2028年度中期経営計画（2028中計）の概要 P.21

デジタル戦略 P.38

2028中計の主要戦略に加え、新設したデジタル戦略を通じて、既存事業の高度化、新たな事業機会の創出、経営スピードの向上を図ります。

POINT 5

当社の強みと、それを育んできた歴史

歴史のなかで培ってきた課題解決力 P.82

多彩なアセットで社会を支える力 P.83

統合前の両社が培ってきた歴史を振り返り、アセットへの知見、顧客基盤、専門性、グローバル展開力など、現在の強みが育まれた背景を示します。

POINT 6

人財・変革カルチャー・ガバナンスによる実行力と信頼の強化

トップガンプロジェクト
従業員座談会 P.15

人的資本に関する具体的な取り組み P.33

コーポレート・ガバナンス P.72

人的資本戦略、従業員座談会、社員メッセージを通じて変革カルチャーの浸透を伝え、リスク対応・サステナビリティ・ガバナンスにより信頼を高めます。

企業価値向上の構成要素・重要課題

主な取り組み POINT 4

